

教科指導講座報告

道北ブロック 国語科

令和元年12月25日
(主管教育局 上川教育局)

令和元年10月24日（木）、北海道旭川東高等学校を会場に道北ブロック（上川、留萌、宗谷管内）における国語科の授業改善セミナー（教科指導講座）を開催しました。道北ブロックの各管内から17名の参加がありました。

本セミナーの実施内容等を紹介しますので、先生方の授業改善の参考として御活用いただければと存じます。

教科指導講座の概要

テーマ 新学習指導要領を踏まえた「国語科における『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善」

本講座は、午前と午後の2部で構成し、午前は「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた授業改善の在り方についての講演と、教科指導スペシャリストである講師2名による実践発表及び研究協議を行いました。午後からは新学習指導要領における国語科改訂のポイントの説明と「書くこと」の単元における学習評価の実際についてのワークショップを実施しました。

講演「国語科教師に期待すること」

北海道旭川東高等学校長

小林 為五郎 氏

今後実行される高大接続改革は、大学入学者選抜の改革だけでなく、大学教育及び高等学校以下の教育を一体的に改革するものである。「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」が求められる今次の改革において、国語科の教員に求められること、期待されていること、取り組むべきことについて講演をいただいた。

実践発表1

天塩高校 中村 大吾 教諭

「文章表現に着目した文学作品の読み取りについて」

実践発表2

留萌高校 山田 朋生 教諭

「小説『山椒魚』を通して行う「見方・考え方」の実践」

ワークショップ

新学習指導要領を踏まえた授業づくり

～「書くこと」の単元における授業評価の実際～

本講座の実施により期待される成果

課題解決に向けた「主体的・対話的で深い学び」の実現（「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善）、実践的な「教科指導力」の向上、ICTの活用、各学校における授業改善の視点の拡大、未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業における研究の充実

教科指導講座の実施状況

講話 「国語科教師に期待すること」

北海道旭川東高等学校長 小林 為五郎 氏



今回の教育改革は系統的な内容の積み上げで行われてきた従来の改革とは異なり、高大接続を起点とした、大学と高校の一体的な改革であることに留意する必要がある。大学入学者選抜が変わるのならば、高等学校の授業も変わっていかねばならない。生徒が「何ができるようになるか」を明確に意識し、見通しを持った学習ができるようにすることをより大切にしていける必要があること。また、これからは幼保、小、中、高、大の接続を重要視していかなければならないこと等、示唆に富んだお話をいただきました。

実践発表 1

北海道天塩高等学校 中 村 大 吾 教諭

根拠を見つけることが苦手な生徒たちに、本文から主張の根拠を「発見する力」をつけるための授業実践を御紹介いただきました。「生徒が疑問を持って読むこと」ができ、「注意して読めば、新たな発見があること」を実感するためには適切な問いを設定することが大切であり、適切な問いの設定により、生徒が教員の期待以上に読解力を身に付けることができるとの報告をいただきました。



実践発表 2

北海道留萌高等学校 山 田 朋 生 教諭

文章中に比喩表現が含まれていると読み取りが困難になる生徒が多いため、比喩表現の読み取りに重点を置いた授業実践を御紹介いただきました。比喩や寓意の意味を、自分の言葉で説明したり、他の喩えに置き換えたりする訓練を通して、生徒の読解力を高めることや、文学的な教材の読解を通して、登場人物等の思考や心情を適切に表現する力を身に付けさせることの重要性について報告をいただきました。



ワークショップ 新学習指導要領を踏まえた授業づくり

～「書くこと」の単元における学習評価の実際～

「書くこと」の単元における評価基準の作成と評価の実際について3グループに分かれて協議を行いました。どのグループも熱心に協議を進め、「書くこと」における評価の在り方や、具体的な評価の方法について理解を深めることができました。



教科指導講座参加者の声

参加者の声

- ・各学校の様々な評価の実情等を聞くことができて、ためになりました。
- ・新学習指導要領の現状について、確認することができて、非常に良かったです。
- ・新学習指導要領に関する、情報を得ただけではなく、ワークショップを通じて授業の改善方法を考えることができたので大変参考になりました。
- ・学習評価について他校の先生方と協議することができて、刺激を受けました。
- ・スペシャリストの先生方の実践について自校で取り入れることができるものは、積極的に活用していきたいと思います。
- ・観点別学習状況の評価について、理解を深めることができましたので、是非自校に持ち帰って、国語科内で共有したい。

参加者アンケートの結果（一部）

- ・今回のワークショップ等で紹介した教材や指導方法は、あなたの授業において

大いに活用できる	18.2%
活用できる	81.8%
- ・今回のワークショップ等において「主体的・対話的で深い学び」の実現や、教材、指導方法理解は

深まった	90.9%
あまり深まらなかった	9.1%
- ・今回の講座は、教員の教科指導力の向上に

大いに役立った	9.1%
役立った	90.9%

今回のこの報告は、次のウェブページに掲載しております

〈上川教育局ウェブページURL〉 <http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/kkk/index.htm>